

豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略 用語集

【ア行】

ICT

情報通信技術のこと。Information & Communication Technology の略称。

移転補償跡地

大阪国際空港周辺で「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」（航空機騒音防止法）に基づいて、国が買収した土地のこと。

【カ行】

開業率

ある特定の期間において、新規に開設された事業所を年平均にならした数の期首において既に存在していた事業所に対する割合のこと。

合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率（母の年齢別年間出生数÷年齢別女性人口）を合計したもの。一人の女性が一生の間に出産する平均の子どもの数とみなされる。

【サ行】

産官学

「産」は産業界、「官」は地方公共団体や国の関係機関、「学」は大学等の高等教育機関のこと。

産業競争力強化法

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）に盛り込まれた施策を確実に実行し、日本経済を再生し、産業競争力を強化することを目的とした法律で、平成26年（2014年）1月に施行された。

社会増加数

一定期間における転入・転出に伴う人口の増加数のこと。

住宅ストック

建築中の住宅も含む現在建っている全ての住宅数のことを示す。

重要業績評価指標（KPI）

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のこと。KPIはKey Performance Indicatorの略称。

【タ行】

待機児童

子育て中の保護者が保育所または学童保育施設に入所申請をしているにもかかわらず、入所できない状態にある児童のこと。

滞在人口

特定の地域（場所）に対し、2時間以上滞留した人の集積値のこと。

地域自治システム

これまでの地域団体と市の各部局の分野別の関係に加え、地域と市が協働で地域課題の解決に総合的に取り組むための関係をつくるもの。

地域福祉ネットワーク会議

社会的援護を要する人々が住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らすことができるよう、要援護者の早期発見から支援につながるライフセーフティネットワークの構築を図ることを目的として、福祉・保健・医療の関係機関等が分野を超えて密接に連携等を行うために設置された会議のこと。

地域包括ケアシステム

介護や支援が必要になっても、可能な限り住み慣れた地域で高齢者が安心して生活を継続できるよう、地域の関係者および関係機関とのネットワークを構築し、「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「日常生活の支援」の各サービスが切れめなく有機的かつ一体的に提供される体制のこと。

都市ブランド

都市そのものの魅力や個別資源の価値等により、多くの人に「行ってみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と思わせる良好な都市イメージのこと。

【ハ行】

バリアフリー化

高齢者や障害者などが活動するうえで、社会のなかに存在する障害（バリア）になるものを取り除くこと。例えば、道路の段差の解消、建物のスロープなどの設置、読みやすい大きな文字や点字での表示など。

付加価値額

企業の生産活動によって新たに生み出された価値のこと。

付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課

【ワ行】

ワーク・ライフ・バランス

働く人の価値観やライフスタイルの変化に対応して働き方を見直し、仕事と生活の調和を図る考え方や取組みを重視すること。